

物 件 目 録

一 構成の説明

1 (一) イ号物件一

a 檜の板材を表面に張り合わせた合板1を心材2の両側に取り付け中空体
状とし、

b 表示を行うべき表裏の両側に右板材の木目模様が現われるようにした看
板本体4と、

c この看板本体4の表裏の両側の表面3に形成され、無色透明で右木目模
様が透視可能で、かつ、その表面に黒色水性インキ5による表示、及び、
右黒色水性インキ5による表示の水による除去を行え、表示の書換えを自
在とする合成樹脂層6とから構成した

d 冠婚葬祭用木製看板 7

(二) イ号物件二

a 檜の板材を表面に張り合わせた合板 1 を心材 2 の両側に取り付け中空体
状とし、

b 表示を行うべき表裏の両側に右板材の木目模様が現われるようにした看
板本体 4 と、

c この看板本体 4 の表裏の両側の表面 3 に形成され、無色透明で右木目模
様が透視可能で、かつ、その表面に黒色水性インキ 5 による表示、及び、
右黒色水性インキ 5 による表示の水による除去を行え、表示の書換えを自
在とする合成樹脂層 6 とから構成し、

d 合成樹脂層 6 の表面に、無色透明で右木目模様が透視可能で、かつ、そ

2
(一)

の表面に黒色水性インキ5による表示、及び、右黒色水性インキ5による表示の水による除去を行え、表示の書換えを自在とする合成樹脂フィルム9が剥離自在に貼付された

e 冠婚葬祭用木製看板7

口号物件一

a ベイトウヒ（米唐檜）又はスプールの板材を表面に張り合わせた合板1を心材2の両側に取り付け中空体状とし、

b 表示を行うべき表裏の両側に右板材の木目模様が現われるようにした看板本体4と、

c この看板本体4の表裏の両側の表面3に形成され、無色透明で右木目模様が透視可能で、かつ、その表面に黒色水性インキ5による表示、及び、

右黒色水性インキ5による表示の水による除去を行え、表示の書換えを自在とする合成樹脂層6とから構成した

d 冠婚葬祭用木製看板7

(二) ロ号物件二

a ベイトウヒ（米唐檜）又はスプールの板材を表面に張り合わせた合板1を心材2の両側に取り付け中空体状とし、

b 表示を行うべき表裏の両側に右板材の木目模様が現われるようにした看板本体4と、

c この看板本体4の表裏の両側の表面3に形成され、無色透明で右木目模様が透視可能で、かつ、その表面に黒色水性インキ5による表示、及び、右黒色水性インキ5による表示の水による除去を行え、表示の書換えを自

在とする合成樹脂層6とから構成し、

d 合成樹脂層6の表面に、無色透明で右木目模様が透視可能で、かつ、その表面に黒色水性インキ5による表示、及び、右黒色水性インキ5による表示の水による除去を行え、表示の書換えを自在とする合成樹脂フィルム9が剥離自在に貼付された

e 冠婚葬祭用木製看板7

二 図面の説明

第1図 全体斜視図（イ号物件一、二及びロ号物件一、二）

第2図 看板に脚台を取り付けた全体斜視図（同右）

第3図 一部を切り欠いた全体斜視図（同右）

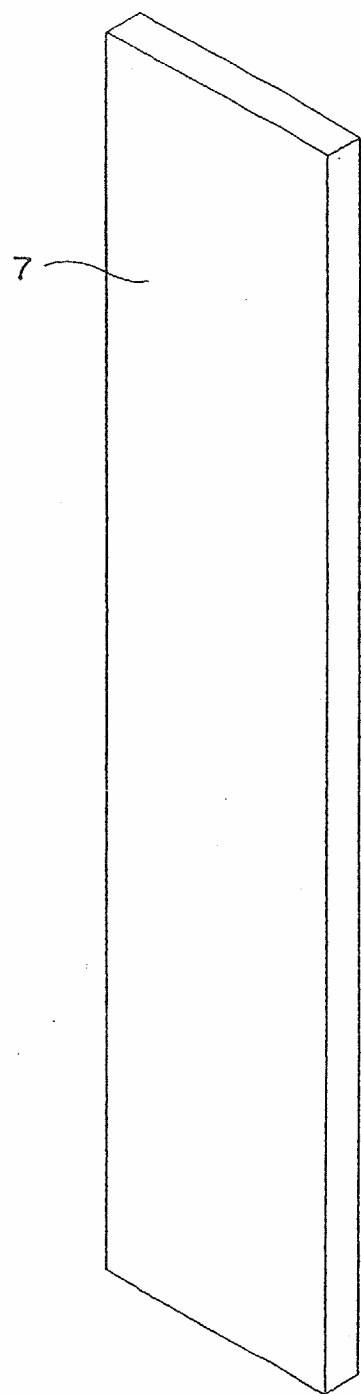
第4図 看板の表面を示す部分拡大断面図（イ号物件一及びロ号物件一）

第5図 看板の表面を示す部分拡大断面図（イ号物件二及びロ号物件二）

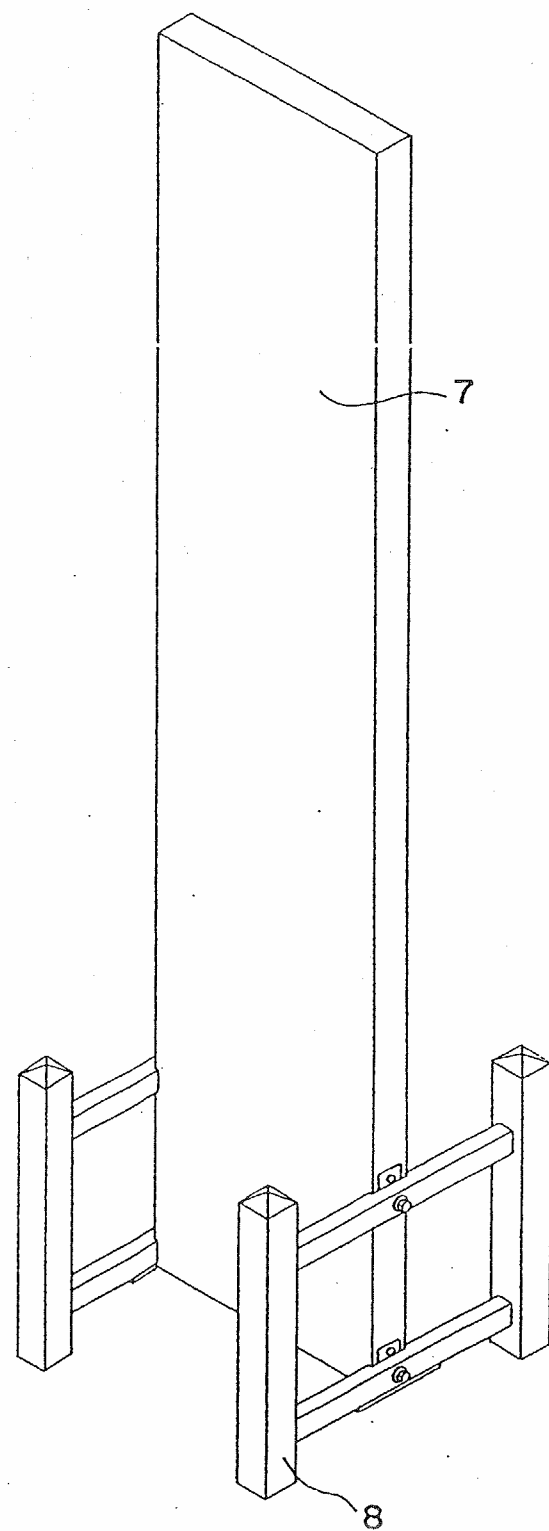
三 符号の説明

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 合板 |
| 2 | 心材 |
| 3 | 表面 |
| 4 | 看板本体 |
| 5 | 黒色水性インキ |
| 6 | 合成樹脂層 |
| 7 | 冠婚葬祭用木製看板 |
| 8 | 脚台 |
| 9 | 合成樹脂フィルム |

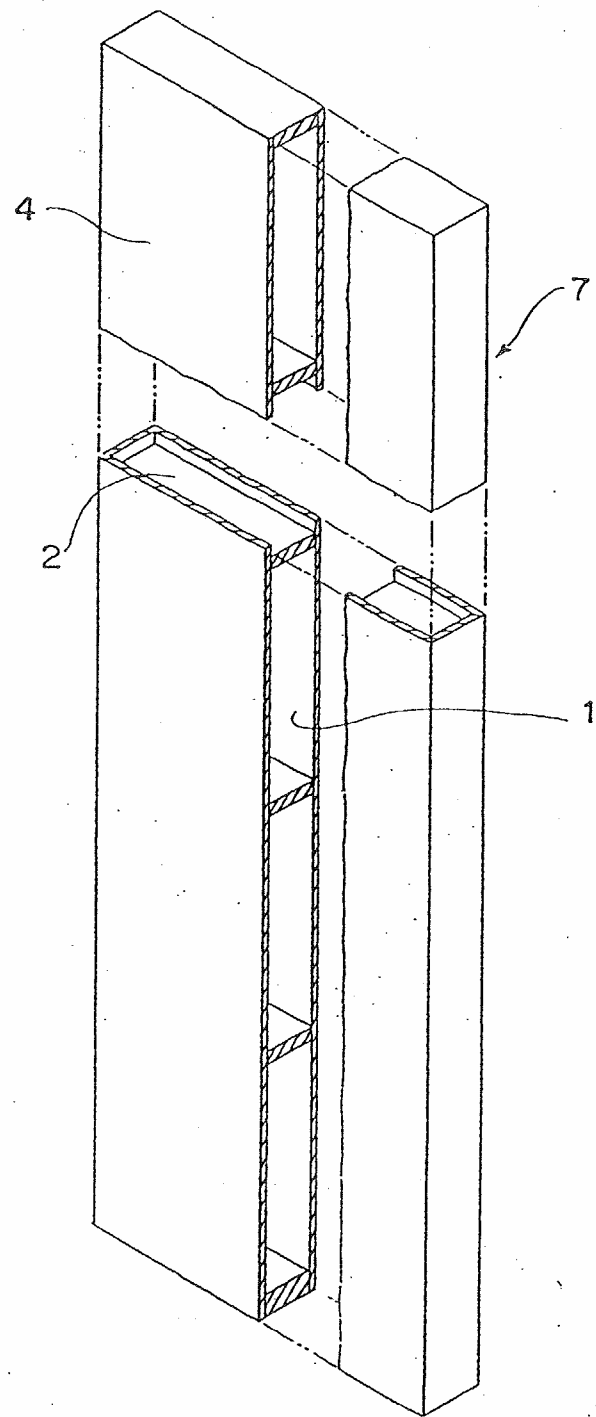
第 1 図



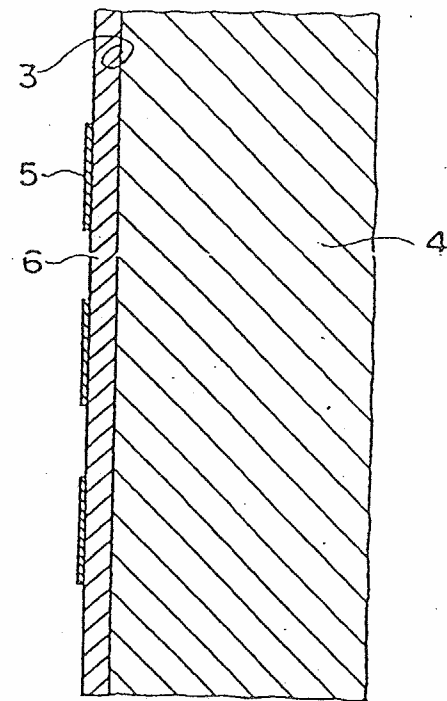
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

